

教育長 殿

宮城県名取学校(定時制課程)  
校長 相沢 功 印



平成29年度 学校評価報告書

1 本年度の重点目標

- (1) 基本的な生活習慣の確立
- (2) 基礎基本事項の定着と学力向上
- (3) 進路指導の充実
- (4) 開かれた学校づくり

2 自己評価結果に対する学校関係者評価

A 達成している B おおよそ達成している C あまり達成していない D 達成していない

評価分野	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		自己評価結果	改善の方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
学習指導	① 学習に集中できる環境づくり	B	授業や考査時に巡回すること等により、落ち着いて学習・受験する環境を確保する。	B	A
	② 「分かる授業」の展開と、学習に対する自信の育成	B	各科目担当の工夫を共有することも含めた、学習指導の改善・充実に繋がる校内研修や他校好事例の研究を計画・実施する。	B	B
	③ 個に応じた指導の工夫、基礎基本の定着、学力向上	B	各生徒の学習上のつまずきやそれらへの手当について職員間で一層の情報共有を図り、連携して支援する。また、支援充実のため学習サポーター等の支援スタッフ配置事業を積極的に活用する。	B	B
学校関係者評価委員会における意見	「授業アンケート」に生徒の皆さんが書いた自由記述は印象的だった。求める姿勢・勉強に対する素直な気持ちは、先生方にとっかかり受け止めてほしい。 評価数値は、経年比較より教職員・生徒間のポイントの開きの方により着目し、原因・対策を検討すること。				
生徒指導	① リーダー養成と自主的な生徒会活動の推進	B	行事の企画に生徒の意見を取り入れたり、行事の運営に生徒を参画させたりすることで、主体性を一層引き出すよう工夫する。	B	A
	② 生活態度の育成、交通安全指導の徹底	B	落ち着いた生活態度が定着しつつあり、また、通学時の事故等はなかったが、引き続き指導の徹底を図る。	B	B
	③ 部活動の充実	A	大会前に部活動の時間を確保する等、積極的な活動が行われるよう支援の充実に努める。	A	A
学校関係者評価委員会における意見	部活動等でもしっかり結果につながる練習をしており、すばらしい。目に見えないいいじめの問題があることも考えられるので、一層丁寧な指導が望まれる。				
進路指導	① 望ましい勤労観・職業観の育成と系統的な進路指導	A	適性検査・進路希望調査・就労調査等の結果を共有し、連携した支援・指導に生かす。 「名星タイム」の内容・方法を一層工夫し、キャリア教育・進路指導の充実に努める。	A	A
	② 職場訪問・職場開拓の推進と個に応じた指導	B	引き続き取組を推進し、産業情勢や求人動向の把握に努めて就職希望生徒を支援するとともに、既卒生の定着指導に繋げる。また、支援スタッフとして連携コーディネーターの継続配置も要望する。	A	B
	③				
学校関係者評価委員会における意見	進路等についてもしっかり先生方がサポートしていると思うのでよいと思っています。社会にはアンフェアなこともあるが、努力していれば誰かが見ていてくれるということを教え、忘れさせないように指導したい。				
学習環境	① 授業公開や情報発信による開かれた学校づくり	B	講演会等の行事を授業公開期間に設定し、来校者を増やして学校の取組を知っていただく工夫や、一斉送信メールを活用した適時適切な情報発信に今後も努め、開かれた学校づくりを一層推進する。	A	B
	② 安全点検及び安全教育の推進	B	防災マニュアルを大幅に改訂し、新校舎供用開始に伴う避難誘導計画等を見直すとともに、緊急時・発災時に自らの身を守る行動について指導し、生徒の知識・実践力の定着を図る。また、一斉配信メールシステムへの登録を引き続き促していく。	A	B
	③ 日常の健康観察や保健指導・教育相談の取組	B	心身の安全や健康の自己管理について、保健だよりや掲示物等による啓発を通じ、引き続き意識向上を図る。 職員間の情報共有やSC・SSWとの連携により、個々の生徒にきめ細かく対応する。	A	A
学校関係者評価委員会における意見	新校舎になることもあり、益々よい指導ができるように。気持ちも新たにしっかりと前に進んでほしい。SC・SSWと関係職員とのより綿密な連携により、困難を抱える生徒を多面的に支援して欲しい。				

3 次年度の課題と改善方策

	次年度の課題	改善方策
①	基礎学力の定着と、個に応じた支援の一層の充実	生徒の学習上のつまずきやそれらへの手当についての情報及び実践の一層の共有。 授業改善に係る校内研修の充実及び他校事例の研究。
③	基本的な生活習慣の確立、規範意識の醸成	安全・健康の自己管理に係る指導及びSC・SSWと連携した支援の充実。 共通理解に基づく粘り強い指導の継続。
④	相互補完的なキャリア教育と進路指導の充実	ソーシャルスキルトレーニング等キャリア形成の下支えとなるプログラムの継続・充実。 「名星タイム」を中核とし、支援団体との連携も図った進路指導の充実。